

|             |
|-------------|
| 公 表 日       |
| 平成24年10月24日 |

随意契約結果及び契約の内容

|                              |                                                               |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 業務の名称                        | 浜砂排水機場修繕耐震対策検討業務                                              |
| 業務概要                         | 別紙のとおり                                                        |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官<br>九州地方整備局 延岡河川国道事務所長<br>春田 義信<br>宮崎県延岡市大貫町1-2889 |
| 契約年月日                        | 平成24年10月24日                                                   |
| 契約業者名                        | (株) 建設技術研究所                                                   |
| 契約業者の住所                      | 福岡県福岡市中央区大名2-4-12                                             |
| 契 約 金 額                      | 20,895,000円(税込み)                                              |
| 予 定 価 格                      | 20,926,500円(税込み)                                              |
| 随意契約によることとした理由               | 別紙のとおり<br>(※随意契約理由書を添付すること。)                                  |
| 業 務 場 所                      | 宮崎県延岡市                                                        |
| 業 種 区 分                      | 土木関係建設コンサルタント業務                                               |
| 履行期間(自)                      | 平成24年10月25日                                                   |
| 履行期間(至)                      | 平成25年 2月28日                                                   |
| 備考                           |                                                               |

## 契約理由書

1. 業務件名 浜砂排水機場修繕耐震対策検討業務
2. 履行場所 宮崎県延岡市
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2－4－1 2（C T I 福岡ビル）  
会社名：株式会社 建設技術研究所 九州支社  
電 話：（0 9 2）7 1 4－2 2 1 1

4. 契約適用法令：会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び  
予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、浜砂排水機場における総合的な浜砂排水機場の対応策の検討を行うことを目的に実施するものである。

2) 業務の内容

本業務は、浜砂排水機場におけるコンクリート構造物劣化調査・建築構造物劣化調査を行い、修繕検討・耐震検討の検討結果から総合的な浜砂排水機場の対応策の検討を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 2 0 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 2 7 者が入手（ダウンロード）し、3 者から参加表明書が提出され、3 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち 3 者を技術提案書の提出者として選定し、3 者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における工程計画の妥当性が高く工夫が図られていること、及び特定テーマの「浜砂排水機場は、潮の影響を直接受けると共に、自然排水とポンプ排水を同一樋管で排水している構造的特徴等を踏まえ、今後の維持管理を考慮した補修及び耐震補強を検討する上での留意点について」に対する技術提案について与条件との整合性について、最も優れた提案が行われたものである。

よって、会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

延岡河川国道事務所 河川管理課長